



活動報告書
2022年度



居場所・学習支援事業
KADOMA 中学生勉強会

すべての子どもたちが
学べる「居場所」を目指して

市内



ニュースは本社社会部
 ☎06-6366-1640 FAX 6361-0733
 豊中支局 ☎06-6857-2345
 東大阪支局 ☎072-966-4988
 枚方支局 ☎072-841-6565
 堺支局 ☎072-232-1072
 泉佐野支局 ☎072-456-7190

ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/osaka/

ご意見・ご要望は
 お客様センター ☎06-6363-7000

購読・配達 ☎0120-4343-81
 広告のご用 ☎06-6367-8200
 折込広告 ☎06-6367-9000

学習の場や居場所づくりを目的に活動している「KADOMA中学生勉強会」(門真市で)



あしたのまち活動賞

門真の団体 主催者賞

子の「居場所づくり」 学生ら評価

住みよい地域社会づくり
 に取り組む団体などを表彰
 する「あしたのまち・くらし
 づくり活動賞」(あしたの
 の日本を創る協会、読売新
 聞東京本社など主催)で、
 門真市の「KADOMA中
 学生勉強会」が主催者賞に
 選ばれた。大学生ボランテ
 ィアが中心となって地域の
 子どもたちに勉強を教える
 だけでなく、悩み事の相談
 に乗ったり、交流できる行
 事を開催したりと「居場所
 づくり」に努めてきたこと
 が評価された。

(福本雅俊)

「勉強しろなんて強制し
 ない。塾じゃないから好き
 な話をしていい。楽な気持
 ちになって帰ってもらって
 とが大切」と代表で府職員
 の八上真也さん(25)は話
 す。

「勉強しろなんて強制し
 ない。塾じゃないから好き
 な話をしていい。楽な気持
 ちになって帰ってもらって
 とが大切」と代表で府職員
 の八上真也さん(25)は話
 す。

同会は2018年、八上
 さんが幼なじみと2人で設
 立。主に中学生を対象に、
 水曜(毎週)と土曜(隔週)
 に門真市民文化会館で無料
 の学習支援などを行って
 いる。

大学生との交流も狙いの
 一つ。大阪公立大や関西大
 など18大学の学生計約40人
 がボランティアで活動に参
 加している。中学2年から
 通っているという高校3年
 男子生徒(18)は「勉強だけ
 でなく、部活のことを相談
 したり、大学生活について
 教えてもらったり。自分に
 とって唯一無二の場所だ
 す」と話す。

「学力以前に『自分なん
 てダメ』という気持ちがあ
 ることを知った。一人ひと
 りの背景や家庭環境を知
 り、寄り添いたいと思うよ
 うになった」と話す。

勉強会では今後、交流を
 深めるための遠足や生徒ら
 が模試を受ける際の支援な
 どを計画している。八上さ
 んは「活動が評価され、学
 生ボランティアらの励みに
 なると思う。これからも設
 立時の思い、信念を大切に
 して活動を続けていきたい
 」と力を込めた。

「学力以前に『自分なん
 てダメ』という気持ちがあ
 ることを知った。一人ひと
 りの背景や家庭環境を知
 り、寄り添いたいと思うよ
 うになった」と話す。

勉強会では今後、交流を
 深めるための遠足や生徒ら
 が模試を受ける際の支援な
 どを計画している。八上さ
 んは「活動が評価され、学
 生ボランティアらの励みに
 なると思う。これからも設
 立時の思い、信念を大切に
 して活動を続けていきたい
 」と力を込めた。

年間続け、大学を卒業する
 前には「どんな環境の子ど
 もも学べる場所を提供した
 い」と勉強会の設立を決意
 した。

現在、学生ボランティア
 として参加している大阪教
 育大4年小山あずさん
 (22)は、同時に学習塾のア
 ルバイトをしていたことも
 あって「最初のうちは、つ
 い『勉強しなさい』と言
 いそうになった」と振り返る。
 しかし、ある中学生が雑談
 の中で「自分に自信ないね
 ん」と明かしてくれたこと
 がきっかけで「居場所づく
 り」の大切さに気付けたと
 いう。

「ずさんだったと批判した
 んの血液が検出され、事件
 についていない」としている。

〈目次〉年次報告書

- 「子どもたちに聞きました」 中学生勉強会に参加した率直な感想
- 2022 年度の活動を振り返って
- 【特集】ヤングケアラーの実態、物価高による子どもたちへの影響
- 保護者から寄せられた声
- 支援者・各協力団体から卒所式へ寄せられたメッセージ
- 2022 年度収支報告およびご支援の拡がり



📺活動報告動画(59分)※4月上旬収録

さらに詳しい活動の様子は、動画にて説明をしております。よろしければご覧ください。なお、通信料はご自身の負担となりますのでご注意ください。

～年次報告書発行にあたって～

2022 年度も多くの皆さまにご支援をいただき、誠にありがとうございました。新型コロナの影響も少しずつ緩和をされる中で、通常の勉強会(学習支援)活動だけではなく、夏祭りや大学見学、遠足、クリスマス会、プログラミング体験会など様々なイベント行事も開催をすることができました。

活動 5 年目を迎え、大学生ボランティアの大学卒業も重なり、大きく入れ替わる 1 年でありましたが、教室リーダーの学生たちを中心に活動を盛り上げていただきました。参加している生徒たちの定着率は 90%を超え、門真の子どもたちにとってかけがえのない「居場所」を提供することができたと考えています。

各イベントも含めて全60回の勉強会を開催し、大学生ボランティアは延べ865名といずれも過去最多となりました。門真の子どもたちは、今後のロールモデルとなる素敵な大学生と出会うことができたと確信しています。また、中3生(17名)全員が高校に合格をすることができ、日頃の活動に対して生徒・保護者から何度も感謝の言葉をいただきました。さらに活動外では、「あしたのまち・くらしづくり活動賞」の主催者賞や「松下幸之助杯スピーチコンテスト」の優秀賞を受賞するなど喜びの多い1年でした。

私自身、大阪府職員という本業を抱え、大学生も入れ替わりが激しく、決して強固な組織基盤があるわけでもない、手弁当な活動ではありますが、これからも、「門真の子どもたちがどんな環境に生まれても学べる「居場所」づくり」に尽力をしていきます。どうか今後とも、KADOMA 中学生勉強会に変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

2023年4月

KADOMA 中学生勉強会 代表 八上 真也



中学生勉強会に参加した率直な感想は？

参加した生徒に聞きました



参加した生徒の声 (※2022 年生徒アンケートより)

「家や学校で勉強するより、大学生と話したり、勉強を教えてもらったりして、すごく分かりやすかった。(中3)」

「先生とは違って、分からないところを聞きやすいからとても助かりました。(中3)」

「勉強が終わった時に、おかしやジュースなどをくれてとてもうれしかった。(中3)」 「クリスマス会などゲームで他の人と
かかわって、友達ができたりしてうれしかった。(中3)」 「大学生との会話が楽しい。無料でここまで世話をやいてくれてび
っくりした。(中3)」 「趣味の話が楽しかった(中2)」 「楽しく勉強することができたから、行ってみて良かったなと思った
(中2)」 「楽しかったし、たくさん思い出がある。(中1)」

2022 年度の中学生勉強会では、夏祭りや遠足など通常の勉強会活動以外のイベントも多く開催をしたこともあり、例年になく他学校の生徒同士や大学生との交流が活発であった印象です。また、多くの大学生ボランティアが参加していただいたこともあり、マンツーマンで学習の指導に加え、隣の大学生ともじっくりコミュニケーションできる環境があったと思います。ご存じの通り、門真市は、市内に大学もなく、地域に大学へ進んでいる方も少ない現状があります。もちろん大学へ進学することが正しいわけではありませんが、多くの大学生と出会い、様々な選択肢や価値観と触れ合う環境が非常に重要であると考えています。

2022年度の活動を振り返って

独自の給付型奨学金をはじめ

新型コロナによる不安定な環境が続くなか、22年度は物価高や電気代の高騰により家庭の経済状況にも大きな影響を与えました。そのような状況の中、門真市奨学金（市が実施していた給付型奨学金※5,000円/月）が21年9月に廃止されたことなどを踏まえ、多くの皆さまからご支援をいただき、22年10月に団体独自の奨学金制度を設立。中3生（17名）全員の五ツ木模試受験料や卒所生への資格試験受験料等に活用をさせていただきました。

進路相談説明会を開催

これまで保護者からの進路相談に正確に対応できていなかった反省も踏まえ、支援者の方から有料塾の代表をされている方をご紹介いただき、保護者・生徒向けに個別の進路相談会を行っていただきました。高校入試も近年目まぐるしく変化しており、私立高校の特待生制度や奨学金などを中心にアドバイスをいただき、実際にこの説明会を受け、2名の中3生が特待生制度を利用して、私立高校へ進学をしました。

全18大学 40名の大学生

各大学の先生方や関係機関にご協力をいただき、大学生ボランティアを募集。過去最多の延べ865名が参加し、門真の子どもたちに、学習のサポートをするとともに、良きお兄ちゃん、お姉ちゃんとして将来の「ロールモデル」像を提供してくれました。

<参加大学生ボランティア一覧>大阪公立大学 14名 関西大学 6名 大阪教育大学 3名 大阪大学 2名 立命館大学 2名 京都大学、神戸大学、京都工芸繊維大学、京都府立大学、同志社大学、関西学院大学、近畿大学、京都外国語大学、関西外国語大学、大和大学、姫路大学、摂南大学、関西医科大学（各1名）

<活動概要>

【日程】勉強会&各種イベント（全60回）

毎週水曜日（6月1日～）18:30～20:00

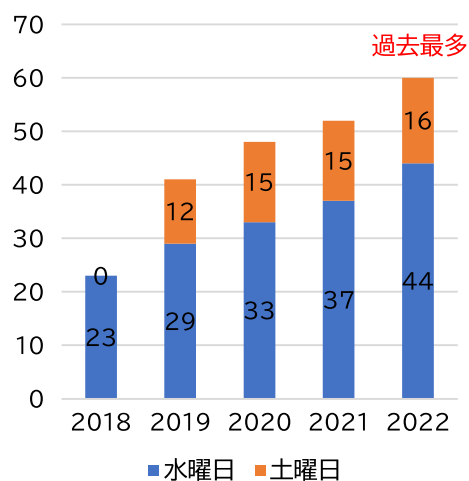
隔週土曜日（9月10日～）10:20～12:00

【場所】門真市民文化会館ルミエールホール3F 研修室ほか

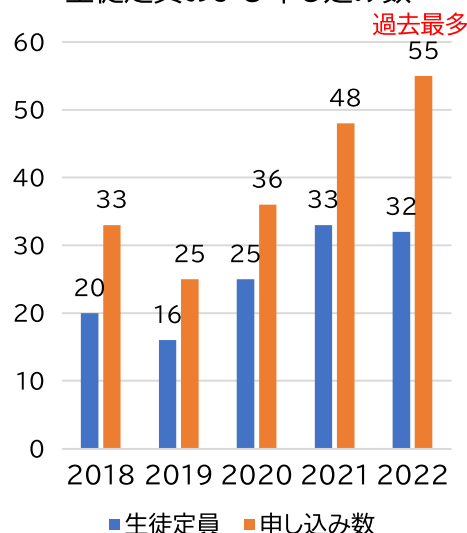
※土曜日は、受験を控えた中3のみ対象（部活引退後のため9月から実施）
年明け以降は、受験対策として10時から17時まで開催

数字で見る2022年度の活動

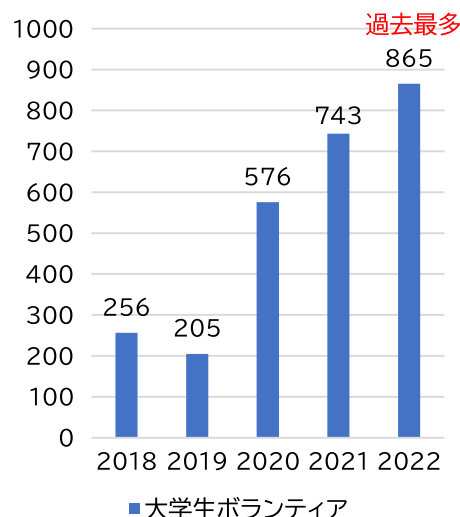
活動回数推移(年間)



生徒定員および申し込み数



大学生ボランティア参加者数



門真市との連携・協力

門真市教育委員会にご協力をいただき、はすはな中学校、第2中学校、第3中学校の中学1年生から3年生まで全生徒に募集チラシを配布。また、会場の指定管理者であるNPO 法人トイボックスのご協力で、3部屋を利用させていただき、卒所式では、門真市長にもご参加をいただきました。

さらに、22年度は門真市役所(産業振興課)を通じて、近畿刃物工業株式会社様からKADOMA 中学生勉強会にご寄附をいただきました。市からの資金援助はありませんが、活動を行う上での様々な困りごとや団体としての不足をサポートいただき、活動を円滑に進めることができました。



目録贈呈式(2023年1月18日)

宮本市長(左) 近畿刃物工業株式会社 阿形社長(中央)

◇各イベントの開催(今年はたくさん開催できました!)

夏祭り&ミニ縁日(8/11)



生徒同士や大学生との交流を目的に夏祭りを開催。手作りの「ミニ縁日」(射的・わなげ・ストラックアウト)は大人気でした!

大阪公立大学見学会(10/15)



昨年度に引き続き、教育福祉学類の森岡先生にご協力をいただき、ミニ講義を開催していただきました。また、府大生との昼食会や大学生活の紹介、大学内散策(部活見学など)現役の学生の皆さまにもたくさん準備をして温かく歓迎いただきました。

万博公園へ遠足(12/3)



他のイベントと重なり、かなりの人混みでしたが、ラーメンEXPOとニフレル(水族館)に行きました!太陽の塔をはじめてみた生徒も。

クリスマス会(12/21)



大学生が企画してくれた「NG ワードゲーム」や「仮り人競争」で会場は例年以上に盛り上がっていました。12月初旬から実施していました Amazon 欲しいものリストより、生徒たちにプレゼントもいただき、とても豪華で贅沢なクリスマス会となりました。

映画鑑賞会(3/15)



プログラミング体験会(3/18)



市民の方々からお声かけ「しではらーかどま市が生んだ日本の総理」映画会を開催。また、大阪ボランティア協会様にお繋ぎいただき、SAP ジャパン様のCSR活動として「プログラミング体験会」を開催しました。

中3生受験対策(1月～)



年明けからは、入試に向けて5回の模擬試験を実施しました。また、合格祈願として、大学生ボランティア手作りのお守り(写真上)もプレゼント。



応募時に聞き取りをした「この1年間で、教科書以外の参考書をどのくらい買ってもらいましたか?」の結果では、1人あたり0.56冊であったこともあり、中1から中3まで全員に参考書をプレゼント。また、中3生には公立入試の赤本もプレゼントをさせていただきました。

生徒・保護者の声 (※2022 生徒・保護者アンケートより)

「大学見学は行かないだろうと思っていたけど、「行く～」と言って、楽しく参加していたので、意外でした。何かきっかけがあれば、興味が湧くこともあるので、いろいろと貴重な経験をさせていただけた事にも、感謝しています。(中3保護者)」

「勉強ばかりでなく、クリスマス会や遠足など楽しい事も企画して下さい、喜んで参加する娘を見て嬉しかったです。学校とは別にこのような交流の場が持てた事で、人とのかかわりにおいても、自信がついたようです。(中3保護者)」

「夏祭りで色々なゲームができた事、クリスマス会で同じテーブルになった 他校の子とも友達になれた事を嬉しそうに説明してくれました。勉強も大事ですが、色々な人とふれあえて楽しくやれて良かったと思います。(中3保護者)」

「遠足やクリスマス会が一番印象に残っています。ケーキやポテト、からあげが美味しかったです。(中3)」

「クリスマス会で、さまざまな人と話して、ケーキやじゃんけん大会があつて、最初から最後まで本当に楽しかったです。初対面の人ともどンドン話せるようになりました。(中3)」

内閣府との意見交換、東京の学習支援見学



[写真上] 宮路拓馬議員(前内閣府政務官)事務所
[写真下] 自見はなこ内閣府政務官室

内閣府との意見交換および東京の学習支援見学を目的に、教室リーダーの学生たちとともに東京へ行ってきました。

昨年度受賞した大臣表彰のご縁で、宮路拓馬衆議院議員(前内閣府政務官子ども政策担当)、後任の自見はなこ政務官と意見交換させていただく機会をいただき、草の根活動の苦労や課題をお伝えさせていただきました。私たちの話にも丁寧に耳を傾けてくださり、大変有意義な意見交換となりました。

4団体の学習支援活動を見学させていただきました。
大阪では、手弁当で活動を展開されている団体、そもそも学習支援活動(無料塾)が少なく、ご活動されている皆さまとお会いでき大変刺激を受けました。同時に、東京で世の中は動いているのではないかと、悔しさも抱きながら、同じ志を持った皆さまにお会いでき、大きな勇気と活動を見直すきっかけにもなりました。快く見学を受け入れていただいた団体の皆さまに、改めて感謝申し上げます。

- ① Grow Seeds Waseda(早稲田大学生による取り組み@東京都新宿区)
- ② カタリバ(文京区青少年プラザ b-lab@東京都文京区)
- ③ Learning for All(@東京都葛飾区)
- ④ 八王子つばめ塾(@東京都八王子市)

物価高による子どもたちへの影響 潜在化するヤングケアラー

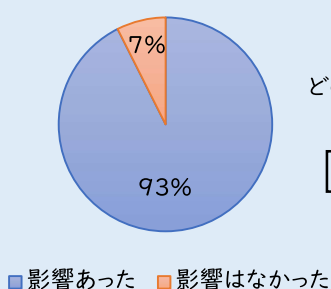
アンケート概要(実施期間:2023年2月~3月)

KADOMA 中学生勉強会の活動に継続的に参加している中学生(30名)を対象に生徒・保護者アンケートを実施した。有効回答数:保護者:27名 生徒:29名

物価高による子どもたちへの影響

Q.昨今の物価高騰や電気代高騰により与えた影響について教えてください。

子どもにかかる出費にも影響がありましたか? (保護者アンケート)



具体的に
どのような影響があったか

上位5位(10の選択肢から複数選択可)

子ども(家族)の食費	22(88%)
子どもの衣服代	11(44%)
子どもの習い事	6(24%)
子どもの参考書費用	5(20%)
子どものスマホ代	5(20%)

■影響があった ■影響はなかった

物価高・電気代高騰により、9割を超える世帯で子どもたちの生活にも影響を与えている。

そのうち具体的な内容として「子ども(家族)の食費」88%、「子どもの衣服代」44%が上位2つで、子どもたちの衣・食にも影響を与えていることが明らかとなった。今後、中学生勉強会としても、フードバンクなど「食の支援」についても実施を検討していきたい。

潜在化するヤングケアラー

※ヤングケアラーとは、(厚生労働省 HP より)

「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと」

Q.普段、家庭において家族の世話や家事を手伝っていることがありますか (生徒アンケート)

(日常的に)手伝っている	14(48%)
たまに手伝っている(週に1回程度)	10(34%)
手伝うことはない	3(10%)
無回答	2(6%)



2022.11.4 毎日新聞より

全国的にも大きな課題となっており、大阪府においても府立高校生 11.4%がヤングケアラーであるとして取り組みを進めている。程度の大小はあると思うが、「日常的に」家族の世話や家事を手伝っている生徒が48%存在している。令和5年度には、各市町村において、子どもの生活実態調査が予定されている。同調査の結果を分析し、施策に反映していくよう強く求めたい。

<子どもの進路相談について> 保護者アンケート

お子様の進路選択について、悩むことはありますか。

悩む場合は、相談できる先(勉強会以外)はありますか。

悩むことはある(相談先がある)	10(37%)
悩むことはある(相談先はない)	13(48%)
悩むことはない	4(15%)

48%の保護者が「相談先がない」と回答。門真市では教員 OB による「進路選択支援相談事業」を実施しているが、平日13時から17時に市役所で開催しており、生徒・保護者ともに参加が難しい時間帯である。効果のある内容に早急に見直しを!

保護者から寄せられた声

※2022 保護者アンケートより

3年間勉強会に参加させていただき、子どもはとても成長したと思います。同じ中学校でない子とのかかわり、先生方とのかかわり、勉強以外のことも成長したと感じます。今の物価高の時代にいい方は悪いですけど、タダで勉強を教えてもらって、ジュースやお菓子までいただけるなんて、みなさんにはほんとに感謝しています。ありがとうございました。(中3保護者)

ご支援ありがとうございました。あまり、子供をつれて、どこかへ行く事してなかったのですが、ラーメンエキスポ ニフレルつれていってもらえたのが、親として嬉しかったです。(中3保護者)

毎週水曜日、必ず行くという意識、課題をわかるまで教えてもらう姿勢など受け身ではなく能動で動く。そして大学生に教えてもらうにも、いろいろな教え方で個性があり、ていねい、わかりやすい、親しみやすいなど問題を解く以外のことを、教えてもらった子供にしかわからないと思いますが、肌で感じているように思います。毎回のおかし、ジュースを頂くのも楽しみにしていましたし、夏祭りやクリスマスの設営やたくさんおかし・景品を頂き、楽しいイベントだったと喜んでいました。八上さん・大学生の皆様、お世話になりありがとうございます。勉強に対して能動の姿勢をもてるようになったと思います。(中2保護者)

ご支援ありがとうございました。毎回のおかし、ジュース、大変喜んでおります。文具もありがとうございました。クリスマスでたらふくたべて帰ってきた子供の姿が印象的でした(笑)とぎれる事なく、支援して下さっている事により、確実に勉強に対する姿勢がかわってきました。物価高騰で生活キビシイですが…安心して勉強できる環境、ありがとうございました。(中3保護者)

この勉強会に参加して人に聞くことができるようになりました。教えてもらって理解できたときは嬉しそうに帰ってきます。勉強ができる場所があるのはとても助かりました。こういった場所がどんどん増えると門真の学力も上がるのではないかと思います。支援していただいた皆さま、本当にありがとうございました。(中3保護者)

企業や大学、地域の皆様いつもご支援いただきありがとうございます。勉強会へ参加させて頂いて、勉強面はもちろんですが、いつもと違ったお友達とも仲良くなり、普段でも、お話ししたりすることが増えたみたいと思います。お互いにさそい合っ、行ける場所。そんな場所を持たせて頂いた事に感謝いたします。ありがとうございました。(中2保護者)

支援者の方々やかどま勉強会代表の八上先生、大学生ボランティアの皆さんには、言葉では言い表せないほど感謝の気持ちでいっぱいです。毎回勉強会の帰りに今日は、こんなお菓子もらったよ!!と、嬉しそうに教えてくれていました。大学生の皆さん優しく、質問しやすかったと言っておりました。人見知りな所があるので、心配していましたが、話せたみたいなので、そこが少し成長した所かと思えます。高校は、個別相談会で勧められた特待生に挑戦して認定され、高校の宿題をしたり、更に意欲が湧いています。それから、勉強会に参加して、感謝の言葉を沢山言っていました。感謝される大人になってほしいです。ご支援いただき、誠にありがとうございました。(中3保護者)

皆様のご支援のおかげで将来の自覚も芽生え、自分の進みたい道へ入学できました。学習面だけでなく気持ち的にも守って下さる場所を作って下さった八上さん、とても感謝しております。皆様、本当にありがとうございます。(中3保護者)

いつも、たくさんのご支援頂き、ありがとうございます。勉強会に帰ってくると「こんなお菓子もらった!」「これおいしいから一緒に食べよ!」など、嬉しそうにしています。筆記用具などもとても助かります。(中2保護者)



令和4年度「あしたのまち・くらしづくり活動賞」

主催者賞(読売新聞本社、日本放送協会他)を受賞!!



2022年11月2日 @東京都北とぴあ
審査委員長の愛知大学鈴木教授(左)

公益財団法人あしたの日本を創る協会が主催する「令和4年度あしたのまち・くらしづくり活動賞」の主催者賞(読売新聞本社、日本放送協会他)をKADOMA中学生勉強会が受賞しました。全国200を超える団体から選んでいただき、**団体としては初めての大きな受賞**となりました。

大学生が子どもたちの無限の可能性を信じ、学力向上のみならず、将来への夢を抱いてもらえるように日々努力していることが評価をされました。大学生ボランティアの皆さまに光を与える機会をつくることができ、本当に嬉しく思います。

支援者・各団体からのメッセージ

※2022 卒所式パンフレットより

全メッセージは右記のQR
コードから閲覧できます！
(卒所式パンフレット)



KADOMA 勉強会に参加した生徒の皆さん、この一年間 KADOMA 勉強会に参加してどうでしたか？学習についてはもちろんですが、きっと学習以外のことも多く学ぶことができたのではないかと思います。大学生の方々は学習だけではなく、皆さんのためにいろいろなことを企画し、楽しい行事を実施してくれていました。そのような大学生の姿を見て「人のために活動することの素晴らしさ」「自主性の大切さ」などを学ぶことができたのではないのでしょうか。ぜひ、皆さんも大人になったら、KADOMA 勉強会に参加している大学生のように、社会や他人のために自分からすすんで活動できる人になってほしいと思います。

また大学生のボランティアの皆さん、門真市の生徒のためにご尽力いただき本当にありがとうございます。門真市においても人とのつながりを大切にされた教育を大切に日々取り組んでいます。ご存知のように門真市には大学が無く、中学生にとっても大学生と一緒に活動するということはとても貴重な経験です。間違いなく皆さんは門真市の生徒にとって、よきロールモデルとなっていました。大学生の皆さんもぜひ KADOMA 勉強会での経験を今後活かしてほしいと願っています。

最後になりましたが、開始期よりこれまで一貫して活動を支えてこられた八上真也氏に心より敬意を表します。また、令和3年度「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」の内閣府特命担当大臣表彰の受賞に続き、令和4年度は「あしたのまち・くらしづくり活動賞」で主催者賞を受賞されたこと、心よりお祝い申し上げます。これからも、多くの皆さんが成長していくことを期待しております。

門真市教育委員会

KADOMA 中学生勉強会にご参加の皆さん、ご卒所おめでとうございます。この1年間、最後まで勉強会に参加し学ぶことが出来た皆さんのことを、とても誇らしく思います。中学三年生の皆さん、高校受験お疲れ様でした。長く続くコロナ禍にあって受験という大きな試練に挑まれたことを、とても誇らしく思います。学習支援にあたった大学生の皆さん、皆さんの大切な時間を勉強会に割いてくださりありがとうございます。この1年間、勉強会と真摯に向き合ってくれた皆さんのことを、とても誇らしく思います。

今年は、私どもの財団も KADOMA 中学生勉強会を卒業することとなりました。3年間、助成という形で皆さんと関わらせて頂いたことを、とても嬉しく、また誇りに思っています。KADOMA 中学生勉強会に集った中学生の皆さんの学びたいという意欲や頑張ろうと思う気持ち、大学生の皆さんの熱意と中学生の皆さんを想う気持ち、KADOMA 中学生勉強会という場で成された素晴らしい経験の数々、皆さんが私たちの助成金に意義と価値を持たせてくださいました。皆さんひとりひとりに心より御礼申し上げます。

互いの想いに応え合い、この1年間で成し遂げた多くのご経験は、思いを変え形を変え、新しい志となって皆さんのこれからを支えてくれると確信しています。皆さんが真摯に打ち込んだ頑張り、学んだ事実は、決して無くなりません。どうぞその誇りを胸に、次の一步を踏み出してください。皆さんのこれからの人生にたくさんの素敵な happy が訪れることを心より願っています。

一般財団法人 中辻創智社 業務執行理事 細川美穂子

これから苦難や困難などがあるかもしれませんが、皆さんは一人ではありません。中学生勉強会のサポーターをはじめ沢山の人が皆さんを必ず支援をしてくれると思います。そういった気持ちを持って、色々なことにチャレンジしてってもらえたらいいなと感じます。そして、将来、卒所した皆さんが、今度は若い人たちをサポーターとして支援してくれることを期待しています。

チャイルドライフサポートとくしま 大塚芳紘

子どもの貧困が問題となり、貧困の連鎖の解消が叫ばれてから久しくなります。しかし、貧困の中でもっとも問題である、人間関係の貧困にはスポットライトがあてられず、ともすれば「学習」に焦点があてられがちです。KADOMA 中学生勉強会の皆さんの取り組みは、そのような弱点を克服する素晴らしい取り組みであると思います。一年間、ありがとうございました。

大阪ダルク理事 リカバリハウスいちごスタッフ 谷口伊三美

門真市長より大学生ボランティアへ感謝状を授与



2023年3月23日@卒所式
宮本一孝市長より感謝状を授与

2020年より大学生ボランティアとして3年間参加し、今春、大阪教育大学を卒業した教室リーダーの小山あずささんに門真市長より感謝状が授与されました。


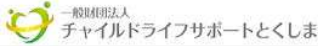
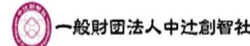
受賞者コメント(教室リーダー:小山あずささん)

今年度で大学を卒業し社会人となりますが、この勉強会に参加したことは、自分の視野や将来の夢を広げる大きなきっかけとなりました。私は公立学校の教員になることを目指していたため、子どもたちと接する機会を増やしたいという思いや、大学の授業で学んだ経済的に苦しい子どもたちへの学習支援を行う「無料塾」への関心から、地元門真市でのこの勉強会の活動を知り、2回生の秋から参加させていただきました。そしてこの勉強会の活動のなかで気づいたことは、このような学校以外での学習支援の重要性はもちろん、学校でも家庭でもない、自分の「居場所」が子どもにあることの大切さ、尊さでした。

約2年半、子どもたちからも、支援をしてくださる皆さまのあたたかさからも、本当にたくさんのパワーをもらっていました。この勉強会での活動と、それによって得られた自分のやりたいことを軸に、これからは私から、子どもたちにたくさんのパワーを与えられるように人生を歩んでいきたいと思っています。本当にありがとうございました。

2022 年度収支報告および支援の拡がり

2022 年度ご協賛いただいた団体・個人一覧

守口門真総合法律事務所 株式会社ビザスク
 所長弁護士 村上 和也 様 弁護士 平野 悠之介 様 近畿刃物工業株式会社 様
 元生活保護ケースワーカー 大阪明星学園 佃 啓史 様
 谷口 伊三美 様 教諭 茨木 曜 様
 ※匿名希望 様(12名)

[後援団体] 大阪府立大学後援会・門真市・門真市教育委員会

[協力団体] 門真市社会福祉協議会・NPO 法人トイボックス

2022年度 KADOMA中学生勉強会
 収支報告書(概要版) ※2022年4月1日~2023年3月26日

収入				
	居場所・学習支援事業	奨学応援金事業	その他	備考
前年度繰越	180,491			
一般財団法人中辻創智社	400,000			助成期間:2022年1月1日~12月31日
子どもの未来応援基金	1,000,000			助成期間:2022年4月1日~3月31日
チャイルドライフサポートとくしま	500,000			助成期間:2022年1月1日~12月31日
Syncable(寄付フォーム) ※振込手数料除く	304,100	139,500		
手渡し・振込(匿名希望)	325,000	30,000		
講演料			50,000	
賞金(あしたのまち活動費)			50,000	
賞金(松下幸之助杯コンテスト)			50,000	
合計	2,709,591	169,500	150,000	

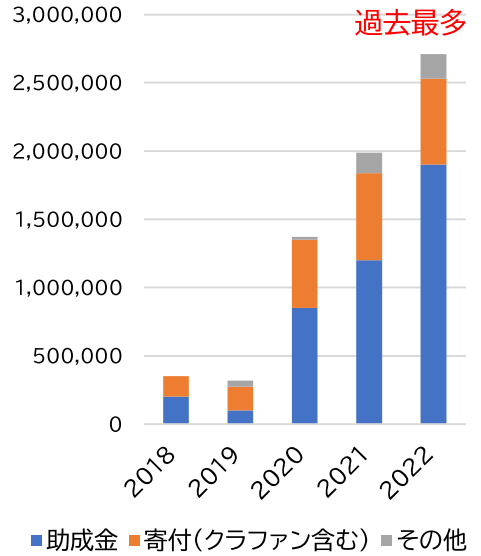
支出(全体)				
	居場所・学習支援事業	奨学応援金事業	その他	備考
謝金	924,500			大学生ボランティア謝礼(1人:1000円/回) 大学生運営メンバー管理費(500円/回)
旅費	756,294			ボランティア交通費(実費交通費上限1500円) 大学見学・遠足参加の生徒交通費・入場料
備品購入費	207,866	80,200		参考書・教材プレゼント、模擬試験受験料 卒所記念品、各イベント備品購入費
消耗品費	208,045	220		インク・見学先団体・支援者へのお礼品 各イベント食料費、大学見学・遠足昼食代
借料損料	123,965			施設使用料、レンタカー代(支援物資引取) コワーキングスペース使用料
印刷製本費	117,513			年次報告書、募集チラシ、模擬試験印刷代
通信運搬費	14,985			郵送料、専用電話代
雑役務費	24,310			振り込み手数料
合計	2,377,478	80,420	0	
差し引き残高	332,113	89,080	150,000	

なお、各事業の差し引き残高は、令和5年度(2023年度)へ繰越いたします。

上記のとおり報告いたします。

令和5年3月26日 KADOMA中学生勉強会

活動資金推移



今年もたくさんの差し入れ
 ありがとうございます!!



<ご寄附のお願い>

KADOMA 中学生勉強会では、2018年の活動開始以来、国や自治体などからの支援を一切受けず、活動を続けてきました。民間団体の助成金やクラウドファンディングなど、地域の皆さまからの温かいご支援によって、これまで5年間活動を継続することができました。当活動の継続、そして「門真の子どもたちがどんな環境に生まれても学べる「居場所」」を創るためには、みなさまからの応援が欠かせません。右記 QR コードもしくは同封の払込取扱票、下記の口座番号、いずれでもご寄付を受け付けております。どうか皆さまのご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行 記号:14030 番号:69130821 名前:カドマベンキョウカイ





発行 KADOMA 中学生勉強会
(文責:代表 八上 真也)

発行日 2023年4月

